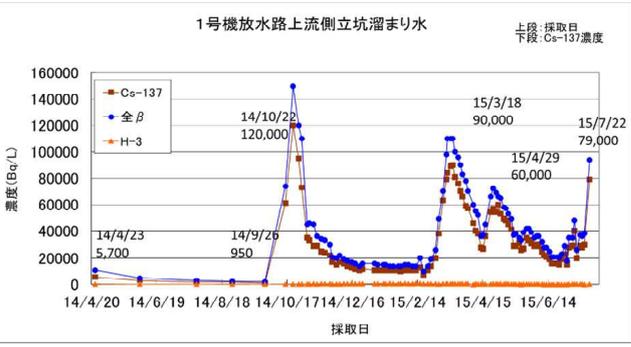
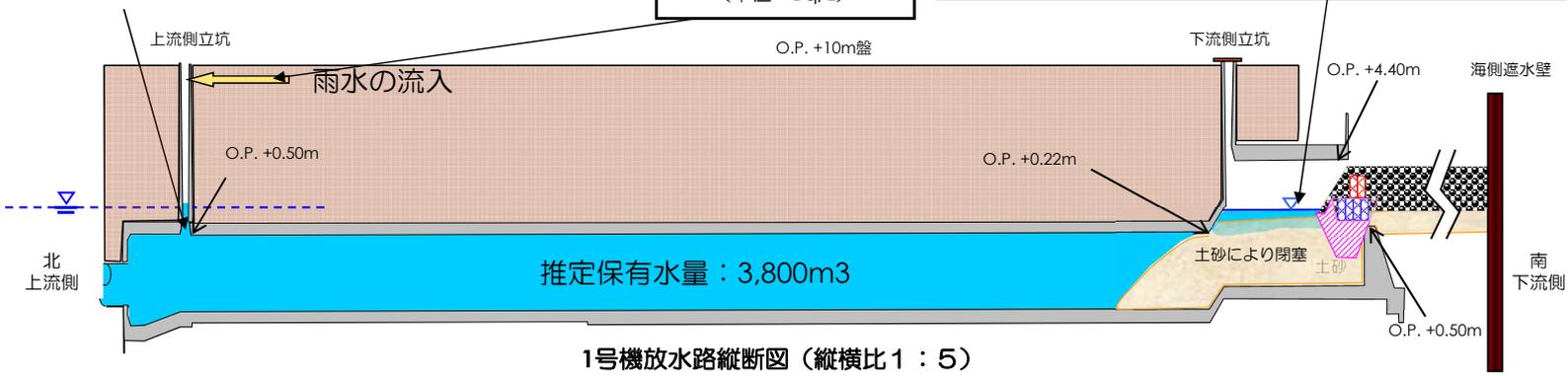
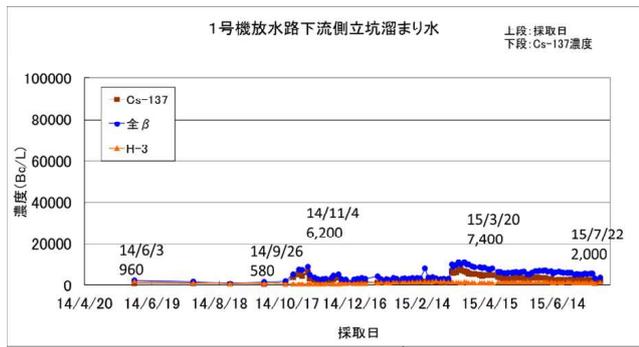


1号機放水路サンプリング結果

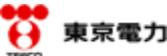
- 1号機放水路上流側立坑溜まり水のセシウム137濃度は、7/16日の降雨による影響と思われる濃度上昇を確認。
- 下流側では、濃度上昇は見られていない。
- 放水路出口（放水口）へのゼオライトの設置は完了しており、準備が整い次第放水路溜まり水の本格浄化を開始する。



1号機上流側立坑流入水
(1号T/Bビルドレ)
・T/B東側地表)
調査日：14/10/6
Cs134：420
Cs137：1500
全β：1400
H3：9.9
(単位：Bq/L)



注：放水口へのゼオライト設置により、放水口内への立ち入りができなくなったことから、3/20より放水口上部開口部から採水することとした。



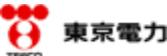
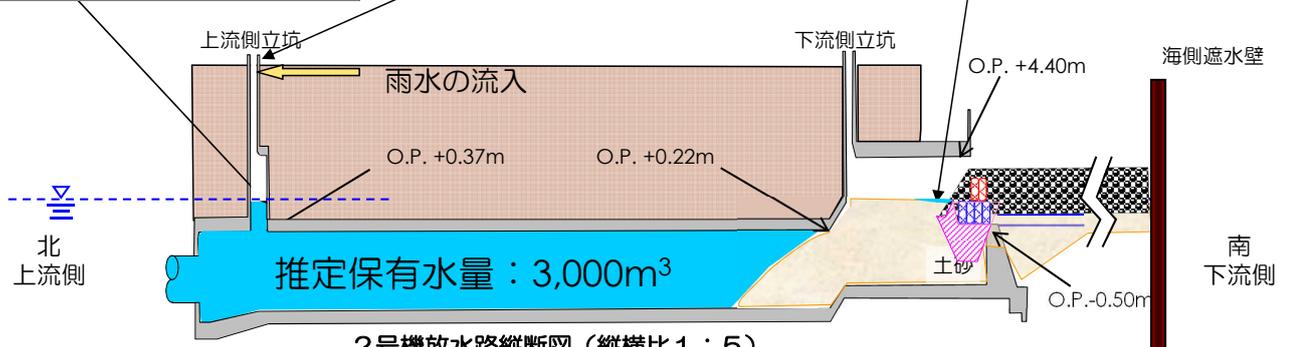
無断複製・転載禁止 東京電力株式会社

2号機放水路サンプリング結果

- 2号機放水路上流側立坑の溜まり水の全ベータ濃度は、降雨により上昇下降を繰り返しつつ低下傾向。
- 5/13以降の全ベータ濃度の変動は、雨水排水の流れ込みによるセシウム濃度上昇によるものと考えられる。
- 放水路下流側（放水口）の全ベータ濃度も低濃度のまま上昇は見られていない。
- 5/13の濃度上昇は、一時的な少量の流入があったものと考えられるが、原因は調査中。



2号機上流側立坑南側流入水
(3号T/Bビルドレ)
・T/B東側地表)
調査日：15/5/19
Cs134：1,500
Cs137：5,700
全β：7,700
H3：ND(110)
(単位：Bq/L)



無断複製・転載禁止 東京電力株式会社

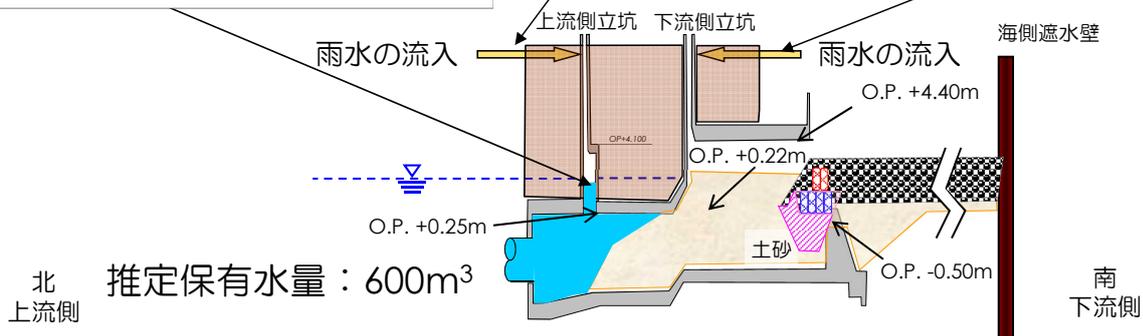
3号機放水路サンプリング結果

- 3号機放水路の上流側立坑溜まり水のセシウム濃度は、1,000~2,000Bq/L程度で推移。
- 降雨時の雨水流入により、一時的にセシウム濃度が上昇するものの、拡散や希釈、沈降等により濃度が低下しているものと考えられる。
- 放水口へのゼオライトの設置は完了。
- 引き続きモニタリングを継続する。



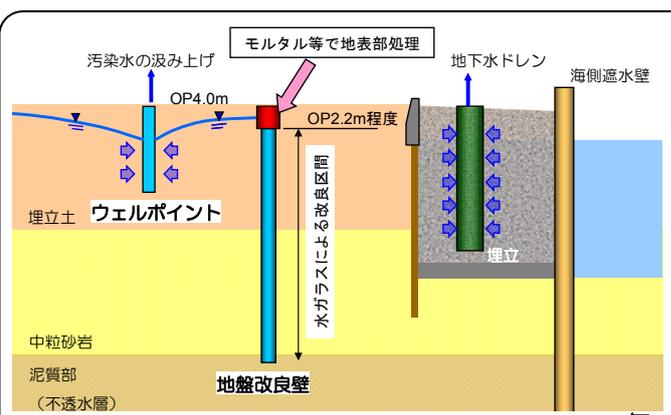
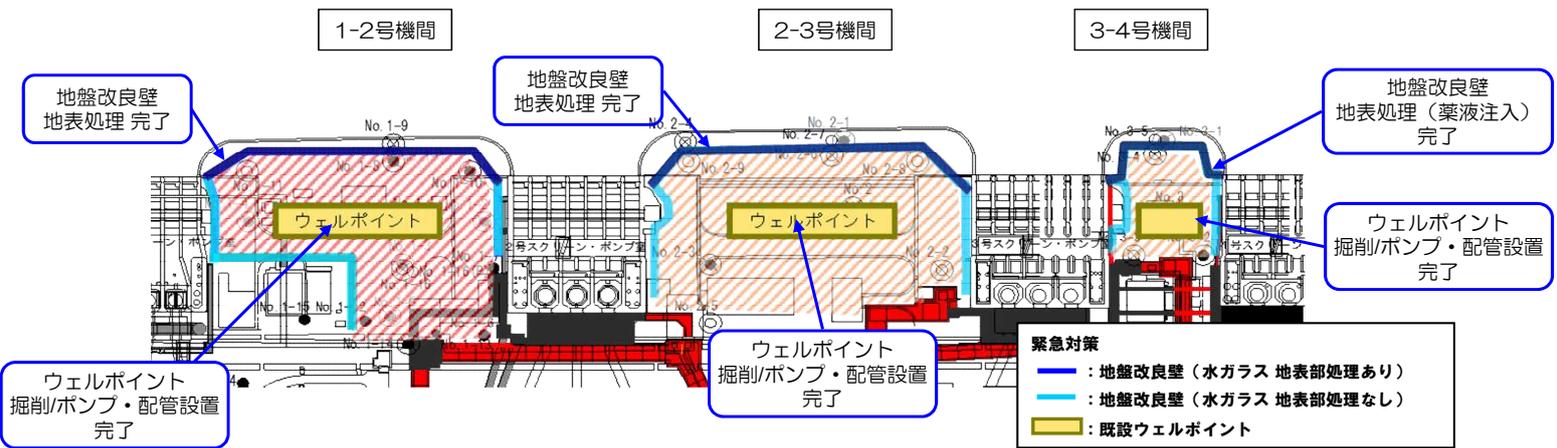
3号機上流側立坑流入水
(3号S/Bll-7ドリ・T/B東側地表)
調査日: 14/6/12
Cs134: 1,400
Cs137: 4,100
全β: 4,800
H3: ND(9.4)
(単位: Bq/L)

3号機下流側立坑流入水
(4号T/B建屋周辺雨水)
調査日: 14/6/12
Cs134: 1,000
Cs137: 2,800
全β: 3,900
H3: 13
(単位: Bq/L)



3号機放水路縦断面図

4m盤の工事状況 (地盤改良壁の地表処理, ウェルポイント設備変更)



エリア	地盤改良壁 地表処理	ウェルポイント 設備変更 *注2
1-2号機間	OP+4.0mまでモルタル置換 2014/1完了	掘削/ポンプ・配管設置 2015/04完了
2-3号機間	OP+4.0mまでモルタル置換 2015/2完了	掘削/ポンプ・配管設置 2015/6完了
3-4号機間	OP+3.5m*注1まで薬液注入改良 2015/3完了	掘削/ポンプ・配管設置 2015/6完了

*注1: OP+3.5~4.4mの地表改良 (モルタル置換) を2015/06完了
*注2: 周辺地盤の透水性を向上させ、今後試験稼働の予定。なお、地下水くみ上げは既存ウェルポイントを使用中(2015/07)

各エリアの工事状況